

上水道・下水道の充実について

うるおいの環境都市部会

1 背景

「豊かさの実感、安全、快適、情報文化都市にいま」を将来都市像として、新見市総合振興計画が策定されている。

我々の担当する「うるおいの環境都市部会」は、市民生活に密着している課題である『上水道・下水道の充実について』をテーマとして検討・協議を重ねてきた。

2 現状

上水道については、1施設・5,767戸・13,470人に給水しており、普及率は99.4%である。簡易水道については、27施設・5,855戸・16,962人に給水しており、普及率は91.8%である。市内全域で概ね整備が図られている状況にあると言える。

下水道については、公共下水道は、1地区・整備済面積556ha・普及率は35.3%、特定環境保全公共下水道は、3地区・整備済面積221ha・普及率は17.7%、農業集落排水は、10地区・整備済面積55.4ha・普及率は5.2%、小規模集合排水は、4地区・整備済面積9.6ha・普及率は0.3%、合併処理浄化槽は、設置数1,755基・普及率は16.2%で、全体の普及率は74.6%であり、全国平均73%及び県平均59%をそれぞれ上回っている。

3 目標

水道については、安定して安全な水を確保することは、市民生活で一番重要なことであると考え、市内全域の施設整備を早期に実施し、普及率100%を目指すことが望ましい。また、下水道整備への水道水の確保は極めて重要であると考え。

下水道事業は、地球環境の保全、とりわけ水質保全、生活環境の改善、都市との格差解消の観点から、公共下水道事業を始め、各種の事業を取り入れて、早期に市内全域の普及率100%を目指すことが望ましい。

4 提言内容

上水道

水の確保対策

市内全域で、安心して使用できる水の確保に一層努めるとともに、浄水施設や配水施設の基盤を強化し、現状よりも安定的に水道水の供給ができる施設整備と体制の構築が必要と考える。

施設の増強

災害・故障・渇水時等、不測の事態に対応できるよう、老朽化した施設の計画的な改良と施設毎のバックアップ体制を整備することで、市民生活に支障を来さないシステム及び設備の創設を要望する。

効率的な施設の運用

市内全域の水道施設を一体的に見直しを行い、旧市町で整備した施設を統合や編入を行うことで、多元的な水道水の活用方を検討し、施設の効率的な運用を図ることを要望する。

下水道

事業の早期完了

市内全域の下水道施設整備に係る目標年度を設定して、早期完了に向けて努力するとともに、関係機関等と連携を取りながら、有効な財源と効率的な事業実施方法を検討することを要望する。

下水道接続の奨励

都市との格差是正や都市機能の充実の観点から、市は積極的に下水道事業に取り組んでいるところではあるが、下水道の利活用促進と生活環境の改善の観点から、市民への接続奨励及び合併浄化槽の設置促進を喚起する必要がある。

水洗化率向上に向けた取り組み

施設の効率的な運用を図るため、下水道及び合併浄化槽への接続と活用を促進するため、財政支援を実施するなど、水洗化率向上に向けた施策の検討を要望する。

5 まとめ

ライフラインの確保・水質保全・生活環境の改善などの観点から、上水道・下水道の充実は、市民生活を送るうえで必要不可欠であることを再認識するとともに、より一層の整備・充実や既存施設の有効な活用方法について考察することができた。

この提言が、少しでも施策に反映され、実現に向けて取り組まれることを期待する。